

8月19日学校説明会 質問への回答一覧

項目	質問内容	回答案
学校概要	部活のことについて (特に科学部)	運動部が12部、文化部が5部で活動しています。活動時間は、平日2時間、休日4時間が上限とし、平日1日、休日1日の休養日を設けております。科学技術部は、ロボット・情報・建築・化学生物領域に係る実験や探究・研究活動を行う予定です。例えば、ロボット領域を選択している生徒が他の領域の研究をしても構いません。自由に活動してほしいと考えています。
学校概要	週4日授業とあるが、休みが3日あるという認識で合っていますか？	月曜日から金曜日まで授業日となり、土日、祝日は休日です。授業時間は、火曜日のみ6時間授業、その他の曜日は7時間授業です。
学校概要	校内にプールがありますが、水泳学習はありますか？	体育の時間を活用して6月から7月の期間、水泳学習を実施しています。
学校概要	学費がどこに載っているかが分かりにくい	入学後、1年次にかかる学費の内訳は、入学金、授業料、施設費、学年費、その他になります。本年度ですが、合計215,150円かかりました。
学校概要	2年次からの4領域を自由に選べるとのことでしたが、各領域に人数制限はあるのでしょうか。もし人数制限があったとして、成績順なのでしょうか。	各領域の人数制限は基本的にはありません。自分の興味・関心や得意科目、進学先も含めて慎重に考えてください。1年次9月頃には希望する領域を選んでいただきます。その前に、科学技術科長、学年主任、担任との面談をして、本人に合った領域を選べるようにします。
学校概要	この学校の校風は何ですか？	科学技術に関する探究活動を通して、次世代の社会を担う志を持つ人材を育てる取り組みを行っています。生徒達は、科学に関する様々な活動に興味を持って臨んでいます。
科学技術科	情報科目の詳細が説明に無かったので、もう少し詳しく教えて欲しい	つくばサイエンス高等学校では、1年次に「工業情報数理」を2単位、2年次には「プログラミング技術」を2単位、全生徒を対象として実施します。「工業情報数理」では情報技術の基礎を、「プログラミング技術」では実技も交えてプログラミングの知識を学びます。また情報領域を選択した際には、2年次で「領域概論Ⅰ」を2単位、3年次で「領域概論Ⅱ」で3単位実施します。どちらも情報理論を始めとして、ハードウェア・ソフトウェア工学、制御理論やAI、ビックデータの活用といったデータサイエンスを扱う予定です。
科学技術科	大学並みの研究設備を備えても、教員には異動があり、センス良く※使いこなせる方を維持する、あるいは、センス良く生徒に体験してもらえる教育プログラムを整備する事にご苦労があるのではないかと素人ながら思いました。そのあたり、工夫、体制がございましたらご教示ください。 ※高度な設備には、他の設備では代えられないそれぞれの長所があるはずですが、生徒の全員が、目的と設備の関係を理解し、それを有益に利用できるテーマを自身で思いつくことができるケースばかりではないように思います。詳しい教員を置く、アドバイザーを置きながら今のうちに教育プログラムを充実させておく等の工夫が必要かと思いました。	研究設備に関して、多くの教員が適切に活用し、生徒のみなさんに正確に還元できるよう、指導書（マニュアル）作りに心がけております。指導書を作成しておくことにより、担当教員が異動してしまったとしても、同じように対応できると考えております。また長期休業期間などを利用し、研究設備の操作方法などの研修会に努めております。
科学技術科	取得可能資格はありますか？	1年次で、情報技術検定試験を全員で実施しますが、本校では積極的な資格取得は行いません。

項目	質問内容	回答案
特色選抜	入試の過去問はどこで入手出来るのか？公立高校の過去問は、開示されているが特色選抜試験の問題を子供にやらせたい。	特色選抜入試で実施される学力検査は、一般入試問題と一緒にです。ただし配点が数学と理科のみ200点満点となります。
特色選抜	質問が3つあります。①特色選抜のプレゼン時に資料（発明や作品の画像など）を使用してもよいのか。②特色選抜で不合格になった場合、もう一度共通学力試験をすることになるか。③倍率が1以下の場合は共通学力試験の点数に関わらず合格になるか（合格的に足切りはあるか）。	試験の内容については、本校HPでご確認下さい。
通学	通学バスがあるような雰囲気でしたが、正確には、どこから乗れるバスがどれだけあるのでしょうか。雨の日だけ乗る、ということは可能でしょうか。（ホームページの中学生向けページ等にも追記されると良いと感じました）	学校独自の通学バスは残念ながらございません。関東鉄道バス、つくバスを利用しての通学となります。また各主要駅から本校までの乗車バスに関しては、スクールガイド裏面を参考にして頂ければ幸いです。また関東鉄道バス、つくバスとも1時間に1本ほどの運行になっております。雨の日は、保護者の方による車での送迎が多いのが現状です。
通学	みどりの駅からの通学バスは時間がかかるので乗る生徒が少ない、とのことですが、その理由は交通渋滞でしょうか。あるいは、本数が少ないから、など理由があるのでしょうか。雨の日は皆さんどう通学されているのでしょうか。	みどりの駅からバス利用者が少ない理由は①バスの本数が少ないこと②バスが回り道をするこで、学校までの時間がかかることです。
通学	最寄りバス停から徒歩10分で、バス本数も少ないという状況について、通学時間帯に増備するなど、改善される計画はあるでしょうか。県や市に要望などされているでしょうか。（雨の日もぬれず生徒が異動できる新しい方法を考案するなどで社会的課題を解決されるのも面白いと思います）	現在本校PTAが保護者アンケートなどをとって、改善にむけての計画を検討しているところです。
通学	バスの本数が少なめなので、16歳から1部原付通学可と伺い興味を持ちました。安全面を考慮するとバス、利便性なら原付も視野に、という感じですが、『1部可』の1部がどのような条件が気になりました。	1年次のバイク通学許可は、夏季休業以降となります。また、通学範囲は学校を中心として、自宅までの直線距離が8km以上20km未満となります。詳細に関しては、学校HP（「学校生活」→「生徒指導部より」→「原付バイク通学規定」）をご参照下さい。
全体を通して	やはり2年生3年生の領域専攻後、具体的にどんな学習が出来るのか、が気になります。教科書も、1年生の領域4科は独自で作られたものを拝見しましたが、専攻後も独自カリキュラム、独自教科書になるのでしょうか。また、各々の研究課題によって、どれくらい実費の負担になるのか、補助はでるのか等等気になります。	各領域ともより専門性を高めた学習や実習になります。例えば、ロボット領域では、高専や短大で使われている教科書を使い、ロボット工学の基本を学習をしますが、微分や積分、運動方程式など数学や物理とつながる教科等横断的な学習も行います。専門分野からも数学や理科の学力向上を支援します。研究活動自体では、基本的に金銭的な負担はありません。ただし、研究室単位で外部の研究所や大学等で研修する際には、交通費等は各自負担してもらうことはあります。
全体を通して	探求に裂く時間が長い分、学力の向上はどのなのだろうか、という不安も感じました。それに対しての工夫や、大学での総合選抜でいかに有効か、という部分のご説明も、欲を言うとお願ひしたいと思います。	学力向上に関しては、火曜日以外を7時間目授業とし、授業時間の確保に努めています。また長期休業期間を利用して課外の実施、また積極的に進学模試を取り入れるよう取り組んでいます。また課外の時間に関しては、今後改善を加えていきたいと考えております。総合型選抜を取り入れる大学数は年々増えております。普通高校にはない、大学並みの設備を活用した研究は、探究活動の深度が増し、総合型選抜への道が大きく開かれると考えています。